

篠養だより



「夢と希望を抱き 心豊かに たくましく生きる子の育成 ～ 明るく いきいきと ～」
◇丹波篠山市立篠山養護学校 ◇丹波篠山市沢田120-1 ◇tel 552-5237 ◇fax 552-6222
幼稚部0名 小学部21名 中学部12名 高等部14名 計47名 早期発達支援室2名 総計49名 No.15

学校評価（「保護者アンケート」「学校関係者評価」）への ご協力ありがとうございました！

保護者の皆様には、今年度の学校運営に関するアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。大変遅くなりましたが、本校職員が行った「自己評価」結果と合わせて、HP上に集計結果を公表していますので、ぜひご覧ください。また、ご意見等をいただければ嬉しく思います。

さて、そもそも『学校評価』とは何か。なぜ行うのか。について、お伝えしておきます。

この『学校評価』は法的に定められたもので、評価結果を学校運営の改善に活かすため、毎年各校において実施されるものです。そして、その結果を広く公表することで、保護者や地域の皆様の理解と信頼に基づく「開かれた学校づくり」に反映しています。

学校評価には、その性格から、各校の教職員が自らの学校運営について評価する「自己評価」と、保護者や地域住民等の学校関係者から構成される組織が自己評価の結果について評価する「学校関係者評価」、そして、学校と直接関係のない専門家等が客観的に評価する「第三者評価」の3つに分類されます。

なお、現在丹波篠山市では、「第三者評価」の導入はありません。また、保護者の皆様にご協力いただいたアンケートなどは、その性格上「自己評価」に含まれます。

学校運営協議会の委員の皆様は、以前から学校だよりでもお伝えしているように、保護者の皆様とはまた異なる立場で学校運営に参画いただいていることから、「学校関係者」として、毎年「保護者アンケート」や「自己評価」の結果についてご意見をいただき、それを「学校関係者評価」としています。

今年度は、去る2月22日（水）に、第3回目の学校運営協議会を開催し、今年度の活動の総括を行い、委員の皆様から学校運営全般に係るご意見やご提言をいただきました。

以下に記載する内容は、保護者の皆様からのご意見とともに、来年度の学校運営に反映できるよう努めてまいります。

学校関係者評価より ～貴重なご意見・ご提言をありがとうございました！～

【今年度の学校運営全般について】 ○…委員から ※…学校から

○見通しを持って安心して過ごせる環境を当たり前（提供）できる学校であってほしい。
※授業全般、学校行事など、いかなる場面においても、子どもたちが見通しを持てるように、視覚支援の充実に努めます。

○全ての取組が、篠山養護学校の実態をもとに判断されているところが良かったと思います。

※今後も他校の取組を参考にしつつ、本校の幼児児童生徒の実態をもとに判断していきます。

○難しい状況の中で、できることは何かを見つけて取り組んでいたことは受け止めました。

今後は「コロナのせい」ではなく「コロナのお陰で」と思える時間を子どもたちに与えていただきたい。

※貴重なご意見をありがとうございます。当たり前の生活に感謝できる…そんな子どもの育成に努めます。

○コロナ対策を徹底し、大きな感染もなく学校運営を進められてきたことは、学校関係者の皆様の努力の賜物だと思います。

※保護者や地域、その他学校関係者の皆様にご理解とご協力をいただいたお陰です。ありがとうございました。

○養護学校においては固有の問題や課題が山積していると思います。また、感染症対策も、他の学校とは異なる対策が必要になってくると思います。今後も引き続き大変ですが、頑張ってください。

○安全第一ですし、柔軟な対応は難しいと思います。子どもたちの特性（生死に関わる、治療が難しい、理解が難しいなど）への配慮を考えると、学校としての対応について、子どもたちや家庭に伝えていくことは大変ご苦労があると思いますが、大切なことだと思います。

※学校は集団生活の場ですので、融通が利かないところもありご負担をおかけしているご家庭もあります。どうしても、全体の安全安心を最優先しなければなりませんので、すべての保護者に納得いただける説明は難しいかもしれませんが、引き続き、ご理解いただけるよう努めます。

来年度の学校運営全般について（○…委員から ※…学校から）

コロナ禍の運営全般について

○今年度は、人数の制限等はあったが、「ささよう発表会」「ささよう音楽会」などの行事が開催できたことは大きな成果であった。来年度は、学校と保護者、地域が協働できる活動の再開が必要です。

※コロナ5類への移行に伴う社会の動きを見ながら、少しずつ可能な範囲で活動を再開できればと思っていますが、段階を踏んでの対応になるかと思っています。

○評価の中で、よく「共有」という言葉が使われているが、その中身をもう少し深く考えて行くことが必要ではないか。

※貴重なご意見をありがとうございます。言葉の中身を考え、実態が伴うよう努めます。

○養護学校に対する期待は通常校とは違ったものですし、他の校種と一括りにできるものではありません。同じように業務の見直しを図ったり改善したりできるかという点と難しいと思います。ただ、無駄を見直していくということは今後も必要だと思います。

※貴重なご意見をありがとうございます。コロナ禍に検討を進めてきたことを行動に移すとともに、保護者や地域の皆様の期待に少しでも応えられるよう、ニーズの把握に努めます。

学力向上について

○様々な指導計画が個々の実態に合った生きた計画になればと思います。また、学校側と保護者側のコミュニケーション不足を感じます。保護者との面談機会などを確実に確保し、課題や指導の方向性を確認することが必要です。

※子どもたちを参観いただく機会や、教職員との交流機会なども少しずつ増やしていければとは思っています。

生徒指導について

○「いじめゼロ」ということは、それだけ目が行き届いていたということだと思います。登校しにくい子どもたちへの対応についても継続して取り組んでいただきたい。

※子どもたち個々の実態に合った取組を進めます。

○個々の特性、幼・小・中・高の発達段階に応じた指導の難しさがあります。時間もかかるし、指導者の数も必要になります。且つ安全安心も求められます。そのような中で、年間の事業計画を立て実践されているのは素晴らしい。継続して取組を続けてください。

○一般的な考え方で誤学習してしまう子どもたちが多い中、個々に理解できるように伝え指導していくことは大変なことと思う。ぜひ、今現在だけでなく将来を見据えた指導をお願いします。

また、社会参画を見据え、自分のことだけでなく、周囲と協調できる、合わせられる力を身に付けてほしい。

※力をつける場所は学校だけではありません。今後、保護者や地域の皆様とも「篠養の子どもたちの将来像（めざす子ども像）」を共有し、それぞれが当事者として子どもたちに関わっていただけるよう努めます。

この度、保護者や委員の皆様からいただいたご意見の中には、温かい励ましの言葉もあれば、厳しい批判の言葉もありました。しかしながら、それらはすべて篠山養護学校への期待の表れと受けとめ、少しずつでも前進していければと考えています。多々至らぬところもありますが、本校の教育活動に、ご支援とご協力をお願いします。